

2023 年度 自主保全士検定試験における変更点について

近年、日本の生産労働人口が減少傾向にある中において、製造業では生産性を強化するため、生産現場のデジタル化が積極的に推進され、製造現場で働くオペレーターにもより幅広い知識・技能を身につけていただくことが求められています。これに伴い、2023 年度の自主保全士検定試験では、以下の変更を行い、「設備に強いオペレーター」の人材育成・確保、自主保全活動の活性化を一層推進していきます。

【変更内容】

1、公式テキスト改訂、試験範囲の変更

2016 年発行の「自主保全士検定試験 公式テキスト」につきましては、自主保全士検定試験に関する唯一の公式書籍として、多くの方々にご利用いただいておりますが、より現代の生産現場で必要とされる設備管理技術に見合った内容に近づけることや、判読性の向上を目的として、2022 年 11 月に「改訂版 自主保全士公式テキスト」を発行いたしました。

- ・改訂版 自主保全士公式テキスト

<https://pub.jmam.co.jp/book/b613885.html>



<改訂版 自主保全士 公式テキストにおけるおもな変更箇所>

■科目 2 と科目 3 の科目順を入替え

[変更前]

科目 2：「設備の日常保全（自主保全全般）」

科目 3：「効率化の考え方とロスの捉え方」

[変更後]

科目 2：「生産効率化とロスの構造」 ※名称変更

科目 3：「設備の日常保全（自主保全全般）」

■「QC 七つ道具」「QC データの管理」「新 QC 七つ道具」項目を、科目 1 から科目 4 に移動

■「科目 5 設備保全の基礎」の出題範囲に、軸、軸継手ならびに密封装置を追加
公式テキストの改訂に伴い、「自主保全士の範囲(科目・項目・細目)」につきましても、
上記内容の反映、各科目・項目・細目の名称の変更や統合変更を実施しております。
2023 年度以降の自主保全士検定試験ならびにオンライン試験は、変更後の範囲が試験
範囲となります。

<自主保全士の範囲(科目・項目・細目)>

https://www.jishuhozenshi.jp/pdf/about/jishuhozen_hani.pdf

2、実技試験 課題公開制度の廃止

2022 年度までの検定試験では、実技試験の課題を年度ごとに公開しておりました。
しかし、製造現場での「実践力を適切に評価する」という実技試験の目的のためには、
複数の科目や項目の内容を含む出題や応用的に出題される場合もあることから、実技
課題の公開については 2023 年度から廃止いたします。実技課題の公開は行いません
が「自主保全士の範囲(科目・項目・細目)」から出題される点に変更ありません。

3、受験手数料の改定

2023 年度より、下記、価格へ改訂させていただきます。
何卒、ご了承のほどお願いいたします。

●1 級

改定前：9,350 円

改定後：9,460 円

●2 級

改定前：7,200 円

改定後：7,370 円

(1 級・2 級ともに税込表記)

自主保全認定制度につきましては、製造現場を取り巻く環境やその変化を見据えながら、
引続き改善を検討してまいります。今後も試験方式等を変更する可能性がございますので、
ホームページや受験案内等でご確認いただきますようお願い申し上げます。